

# 糸島市補助金設計書

所管課	総務課
-----	-----

補助金名称	自主研究グループ助成金
区分	②奨励・支援的事業補助
該当例規等	糸島市自主研究グループ助成規程

## 【長期総合計画体系】

基本目標 6 \_\_経営感覚を持った持続可能なまちづくり

政策 1 \_\_行財政改革の推進

施策①\_\_市民満足度を重視した行政サービスを提供する

### 1 補助の目的

自主的に政策等の調査研究を行う職員のグループの活動を助成することにより、職員相互の自己啓発意欲の高揚と研究風土の醸成を図るとともに、その成果を市行政の推進に反映させる。  
市民ニーズや地域課題を的確に把握し対応するには、政策等の企画立案能力が必要であり、自主的に調査研究を行うことでその能力向上が期待され、職員の能力向上により市民満足度が高い行政サービスの提供につながる。

### 2 成果指標

成果指標 1 : 自主研究グループ数 (単年度)  
目標値 1 : 2 グループ (予算計上グループ数)  
成果指標 2 : 市行政に活用された研究成果数 (単年度)  
目標値 2 : 1 事業

### 3 補助対象事業・補助対象者

補助対象事業

市の行政事務運営の効率化に関する事項、市行政の推進に関し参考になる事項、市が実施すべき新たな施策に関する事項、市長が定める事項などの調査研究

補助対象者

調査研究を行うために自主的に結成された3人以上の職員のグループ

### 4 補助対象(外)経費

補助対象経費

- (1) 図書、資料等の購入費
- (2) 指導助言者等に対する謝礼
- (3) 会場借上料
- (4) 旅費(日当及び宿泊料に相当する経費は除く。)
- (5) その他調査研究活動に必要な経費

### 5 補助率・補助限度額、積算根拠

補助限度額は、15万円

積算根拠

1 グループの平均構成員数 7人

視察旅費20,000円×7=140,000円、書籍購入費 5,000円、講師謝金 5,000円の想定

★市行政の推進につながる自主研究であり、喫緊の課題である政策形成能力の向上のため高い補助率にすることに公益性があると考えており、補助目的を実現するためには妥当な補助率と判断している。

### 6 補助期間(期間終了後の継続及び終了の判断は、必要性や成果等の検証により行う)

令和2年度まで